

令和3年度第2回北九州市地域バイオマス安定供給検討会

会議内容（結果）

【会議概要】

日時：令和4年2月2日 14:30～15:50

出席者：官民16団体24名（うち市役所関係2部局6名）

【議題次第】

- 1 竹のカスケード利用研究の進捗報告について
- 2 北九州市の木材生産状況について
- 3 武雄地区木材安定供給協議会の取組について
- 4 北九州市地域バイオマス安定供給検討会の今後のあり方について
- 5 意見交換

【会議結果】

- 1 竹のカスケード利用研究の進捗報告について
 - ・九州工業大学坪田准教授より、竹のカスケード利用研究の進捗報告がなされた。
 - ・加圧熱水処理後の残渣については、活性炭や、バイオ炭としての利用を見込んでいるとのことであるが、発電燃料（ペレット化）としての利用も引き続き検討している。
- 2 北九州市の木材生産状況について
 - ・北九州市産業経済局農林課から木材生産状況についての報告がなされた
 - ・バイオマスの行先については、ホクザイ運輸によりバイオマスチップとなっている。一般的に、林地残材の回収を行うことで山を整備することになるが、その上で回収した材の対価を山側に支払い可能な事業者が林地残材を回収するのが林業の流れである。
- 3 武雄地区木材安定供給協議会の取組について
 - ・伊万里農林市場様から、佐賀県武雄地区で行っている、木材安定供給協議会の取組内容について紹介があった。
- 4 北九州市地域バイオマス安定供給検討会の今後のあり方について
 - ・事務局である北九州環境局再生可能エネルギー導入推進課から、本検討会の今後の在り方について提案を行った。
 - ・本検討会については、当時の設立趣旨を一定程度満足しており、今後の運用方針について検討する時期に差し掛かっている

- ・事務局案としては、検討会としての会議体は維持しつつ、開催頻度を基本的には年1回とする方針が示された。(追加で報告事項等がある場合は、適宜2回目の開催を検討)

5 意見交換における主な内容について

- ・令和3年度の間伐材について、1/1時点で45.7m³とのことであったが、1月末時点では約200m³まで増えている。2月～3月で400m³まで増やして出荷予定。
- ・本検討会において、地域材の活用もぜひ検討してほしい
- ・地域材活用の流れで、熱利用も検討してほしい。特に、ボイラー導入に関するアンケートを過去に取ったと思うが、前向きに検討している企業へのボイラー導入も含めて、検討してもらいたい。
- ・ウッドショック以降、木材価格は現在横ばいで推移している。今後は、A材、B材だけでなく、山全体を余すことなく活用できるようにしていきたい。
- ・過去、小規模な実証で、バイオマスの1/3を竹で代用した事例について聞いたことがあるが、特に問題はなかったらしい。市内や近隣自治体にバイオマス発電所も多く立地しているので、燃料の1%でも竹で代替できれば効果は大きいと思われる。
- ・今後、本検討会で扱うテーマや方向性について、もう少し明確にした方がよい
- ・竹のカスケード利用については、関心を持つ関係者が多いので、今後も積極的に情報共有をお願いしたい。また、残渣についても発電利用を試す環境が整っているので、準備が出来次第、検討を進める。
- ・木材の生産状況などの資料を提出いただいているが、将来的には、短期的な変化だけでなく長期的な変化を見ながら傾向を考察できるようになればよい。引き続き資料の提出をお願いしたい。

なお、検討会の今後のあり方については、事務局案に賛同する意見が太宗であった。引き続き、関係者の意見を聞きながら、次年度以降の運用方針について、今後決定を行う予定である。

以上

令和3年度 第2回 北九州市地域バイオマス安定供給検討会
参加者名簿

No.	団体・企業名（敬称略）
1	北九州市森林組合
2	京都森林組合
3	株式会社守恒造園建設
4	株式会社エジソンパワー
5	九州電力株式会社
6	ダレスサンドロジャパン株式会社
7	テス・エンジニアリング株式会社
8	株式会社伊万里木材市場
9	日鉄エンジニアリング株式会社
10	響灘エネルギーパーク合同会社
11	九州工業大学
12	福岡県八幡農林事務所林業振興課
13	福岡県行橋農林事務所林業振興課
14	福岡県企画・地域振興部総合政策課エネルギー政策室
15	北九州市産業経済局農林水産部農林課
16	北九州市環境局グリーン成長推進部再生可能エネルギー導入推進課